



発行所
 宗教 寶生教大阪本部
 大阪市西区北堀江3丁目10番
 電話 06(6531)6722
 FAX 06(6531)6152
 © (非売品)

2月号

自家成立の
 根源は和にあり
 秩序の根源は
 神祖崇敬より

話 お授け頂いたお徳を世の為、人の為に。 教 — お願い事は具体的に —

元旦祭



ご教話なさる祭主・本部長様

「事が大変重要なのです。日本には「言霊」という言葉も在ります様に、口に出した言葉が空気を震わせ、神様の御心を震わせるのです。」

と申しましても、玉串奉奠の際など、大声で口にする必要は在りません。自分だけが解る僅かな音量で結構ですので、はっきりと言葉にするということです。

その内容に関しましても、例えば、お商売されて居られる方なら、「今年も商売繁盛、沢山儲かります様に」といった、大まかなお願いでは神様に届きません。

そうでは無く、「今期は売り上げを何%伸ばしたい」と思っております」といった様に、具体的な内容まで神様にお聞き頂くことが重要なのです。

そして、一生懸命お願い

ご参拝の教信徒の皆様、新年明けまして御目出度う御座居ます。

遠方各地、大阪府下、市内近郊の教信徒の皆様には、各家のお正月の祝い行事を早々に相済ませられ、この様にご家族挙げてご参拝の姿勢、その真心は、必ずや大神様、各家ご祖先様に届くもので御座居ます。

扱、大神様、ご祖先様に祈りを捧げ、願いを届けるには、参拝されるお姿、そしてその作法等も大切な事ですが、「思いを言葉に出

をするだけではいけないことは、申し上げるまでも無いことでしょう。その目的、願いを成就するのは、何と申しましても我々人間の努力次第で御座居ます。

では、大神様、ご祖先様ほどの様にご守護下さるのか。神様への祈り、願いとは、神様への「決意表明」と言い換えることが出来るでしょう。

つまり、「今期は売り上げを何%伸ばしたい。その目標に向かって精一杯の努力が出来る様に、どうかお力を授けて下さい」と言葉にするのです。

又、学生さんであれば、「成績が何点上がります様に」ということも大切な事ですが、更に「良いご縁、良い友人、良い先生に恵まれます様に」とお願いすることも大変重要です。必ず



元旦祭奉納神楽「浦安の舞」
 舞人、柴垣敬美さん、柴垣裕美さん、森彰子さん、木本富子さん。

大神様、ご祖先様は、良いご縁を授けて下さいます。自分でしっかりと計画を立て、具体的な目標設定をし、神様に細かくお聞き頂き、その目標達成の為に精一杯の努力が出来ます様にお願いすれば、しっかりとお力添えをして下さるのです。

そこで自らが努力をしたときに、そしてその努力が神様の御心にそったときに、十の努力が、十二にも十五にもなって結果として表れるのが寶生教の教えで御座居ます。

もう一つ大切な事が有り、神様が願いを聞き届けて下さった。では私達教信徒は神様に何が出来るのか。授けて頂いたお徳を、世の為、人の為、そして教えの為に返すという事が大切なのです。

それぞれが出来る範囲で、精一杯の努力をし、又お尽くしになって下さい。必ず

や更なる大きなお蔭を授けて下さいませ。

大神様やご祖先様との上手なお付き合いの方法を学ぶのも、信仰であります。しかし、熱心に信仰なさる皆様も、日常の中で辛いこと、悲しいこともおありのことでしょう。その様な状況に置かれたときに、柔軟に受け流せる様な心を養う。又その様な心持ちを育てて下さるのも大神様の大きなお蔭で御座居ます。

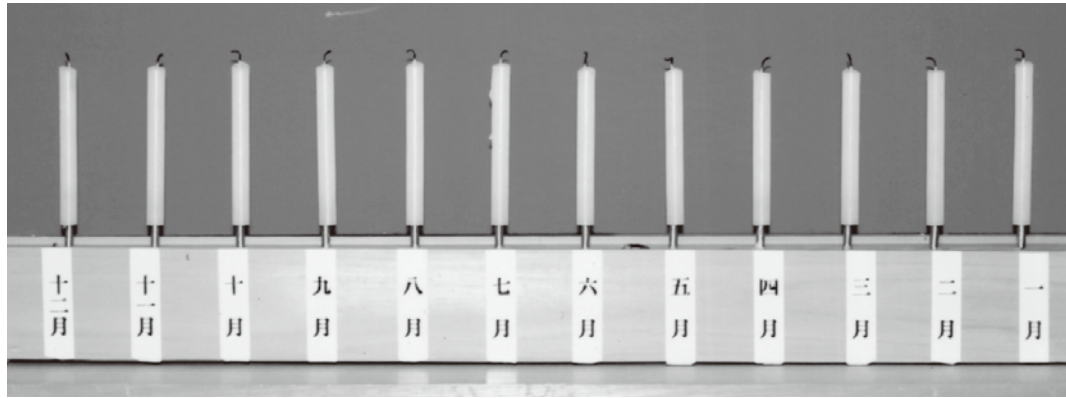
本年は、我々日本国民にとって大変重要な「御代がわり」が行われます。そして、各家の皆様にも大切な年であるかと存じます。どうぞ、本日お一人おひとり、直接頂かれたお徳を大切に下さって下さい。

そして、皆様にこの一年ご多幸が訪れる様に、又各家の自家成立、家内安全、お商売しておられる方々の商売繁盛、学生の皆様が勉学に励み、健やかにご成長なさる事を、一堂に会し、共々に祭典奉仕致しましたので、必ずそれぞれに大きなお徳を授けて下さるもので御座居ます。

本年も教信徒皆様と共に、教えの為に尽くして参りたいと存じます。本日は元旦祭、ようこそご参拝下さいました。

平成31年 己亥之年 月並運勢ご神宣とお蝋燭

Table with columns for 項目 (政治, 経済, 社会問題, 思想, 疫病, 天災, 動乱) and rows for months 1-12. Includes a vertical note '変わららず'.



ご教話
ご神示に感謝し、努力を。
冬至祭 (12月22日)

皆様こんばんは。本日はも関わりませず、米子、東ご奉仕、ご参拝誠にお疲れ時二十分という早い開式に皆様、それぞれご多用の所、今日は冬至の日。祝詞の

中でも「日の強きに立ち返る始めの日」と奏上致しました様に、今日から日が少しずつ長くなっていきます。つまり、太陽の光を浴びる時間が長くなっていくという訳です。

我々現代人は文明社会の中にも「日の強きに立ち返る始めの日」と奏上致しました様に、今日から日が少しずつ長くなっていきます。つまり、太陽の光を浴びる時間が長くなっていくという訳です。

たのかも知れません。「己」という年は、完成した自己や、成熟した組織が、足下を固めて次の段階を目指す準備をする年。そして「亥」に木偏を付けるのと、「核」になります。この字の示す通り、「亥」とは、固い種の中でエネルギーを内に込めている。正に、そういった事を象徴する年なのだそうです。

中にも「日の強きに立ち返る始めの日」と奏上致しました様に、今日から日が少しずつ長くなっていきます。つまり、太陽の光を浴びる時間が長くなっていくという訳です。

その為にはやはり、教徒徒皆様お一人おひとり、次への成長の足がかり、そして又、準備を進める年としていただきまして、それぞれに相応しい神様へのご奉仕、或いは布教に繋がる様な信仰生活を送るといった事を考えていただいて、前向きに取り組んでいただければと存ずる次第でございます。

御本宮 月並祭 毎月第一日曜日 午前十一時半より

扱、祭典中に平成三十一年の運勢を御神宣致しました。稲の取れ高や世相等を御神示頂いております。ご覧の様に、お蠟燭は、年間通して大きな変化はありません。お米の収穫も昨年と比べると全般的に良く、ほぼ平年並ということですが、

政治にしまして、国内では四月、五月、十二月にご注意が出ております。四月には統一地方選挙が行われます。特に大阪は、現在

維新の会が勢いを付けておりますが、是非自民党に力を付けていただきたいと願って居る所であります。

政治面、外国では四月、九月、十二月、経済面では国内は五月と九月、外国は四月と十二月にご注意が出ております。

社会問題は、国内では四月と七月、外国では六月に



冬至祭、お蠟燭点火される祭主、本部長様

ご注意が出ており、思想にしましては、国内では変わりはないということですが、疫病ですが、国内で二月と七月にご注意が出ております。それぞれインフルエンザや夏の病気が流行る時期ですので、十分にお気を付け下さい。

外国では三月と七月にご注意が出ております。畜産関係や食肉関係、例えば、かつて鳥インフルエンザや

狂牛病などもございましたので、その様な仕事に携わっておられる皆様は、この時期海外の疫病にもご注意下さい。

天災ですが、九州地方は三月、六月、九月、中国・四国地方は二月、六月、八月、近畿地方は二月、七月、九月、中部地方も同じく二月、七月、九月、北陸地方は二月、関東地方は二月、七月、九月、東北地方は二

ボウリングにお饌米おろし 青年部 有意義に初顔合わせ

一月十四日(日)、お蔭様で好天のもと、新春恒例の本部青年部総会、「初顔合わせ」が開催されました。

午前九時、青年部実行委員をはじめ、参加者一同教会に集合。朝拝後、心齋橋へ移動し、中谷総代様もご一緒に好評のボウリング大会。石川県よりご参加下さった佛坂圭亮様の始球式により大会スタートです。

大人も子供も、もちろん実行委員も、優勝目指して全力投球。ハイタッチをしたり、歓声や悲鳴が入り交じる中、あっという間に二ゲーム終了。結果を楽しみに教会へ・・・



青年部総会。岸田部長の挨拶

月、七月、北海道でも二月七月にそれぞれご注意が出ております。

今年上陸した台風二十一号の様な大きな台風はやってこないと言いますが、油断せず、各ご家庭用心なさせて頂き。

更に、二月に全国的にご注意が出ております。これは、今冬は暖冬だといわれていますが、その様な時に平年並の寒波が来ますと

教会帰着後、教父様、総代様にもご臨席賜り、総会を行いました。青年部、岸田浩暢部長の挨拶に続き、

教父様、岸田総代様に御挨拶を頂き、木本輝子会計により、三十年度会計報告を行い、無事に総会を終了。中谷総代様の発声で乾杯、昼食の教会特製カレーライスをたくさん頂きました。

食事の後は、いよいよ気になるボウリング大会の結果発表。優勝から五位まである賞品に、五飛び賞やブービー賞、更には十四日に因んで十四位の「当日賞」もあり、大盛り上がり。優勝は昨年に続き連覇の、羽田敦美さん。拍手の中、結果発表は終了しました。

その後、参加者全員で、こちらも毎年恒例の御饌米おろしのご奉仕です。正月に本殿両脇にお供えされた俵米を米袋に移し、備蓄庫へ。子供達も一緒に、スムーズにテキパキと、お蔭様

かなり冷え込みます。ですから、国内全域冷え込みの注意、又地域によっては雪害にお気を付け下さい。

動乱にしまして、国内ではございませぬ。外国では二月と十月にご注意が出ております。

以上の様に、大神様より御神示下さっております。しかし、物事の多くは我々人間の行動に原因があるのではないのでしょうか。

ボウリング場で記念写真



ボウリング場で記念写真

で短時間で終了しました。大人も子供も、実行委員の皆さんも、終始笑顔の絶えない、有意義で充実した初顔合わせとなりました。

本年も、本部青年部諸行事・諸活動に、ご理解、ご協力を頂き、大勢ご参加頂きます様、宜しくお願致します。

例え中には、信仰しているのに何故物事が上手く進まないことがあるのかな、又は何故病にかかるとか、と感ぜられる方も居られるかも知れません。

しかし、我々の信仰は、神様をお願いするだけで、試験の成績が上がる訳でもなければ、お商売が上手くいく訳でもない。又病気になる訳でもないことは申し上げるまでも無いことです。

やはり何と申しまして、ご本人の努力が一番です。精一杯の努力をしたときに、神様がそれぞれの努力に応じて、又それぞれの信仰の深さ、神様への理解の深さに応じて大きなお徳を授けて下さるのが、寶生山の神様です。

その神様からいただいた大きなお徳や、直接ご神示下さった尊い教え、又いただいたお陰を子孫に伝え、更に寶生教を知らない世の人びとに広く伝えることが重要で、

そして伝える上で大切なのは、ただただ伝えるだけではなく、これは寶生教の神様が直接教えて下さった事なのです、寶生教の神様からいただいたお徳、お陰なのです、ということをしっかり口にして伝える

春之祖先霊大祭

ご慰霊 申込み受付 新合祀

(祭典後に信徒総会を開催)

各家で祖先の大切な春の霊大祭、感謝を込めて、家族揃ってご参拝になり、誠心のご慰霊を致しましょう。尚、今年の信徒総会も、昨年同様に、春之祖先霊大祭祭典後に開きます。開祭時刻は午後一時半です。お帰りのご予定等、お間違いのないよう、ご注意をお願いいたします。

記

春之祖先霊大祭

並びに信徒総会
三月二十一日(春分の日)
午後一時半 開式
祭典に引続き
信徒総会を開催
※ご慰霊、新しい霊の合祀
願いの申込みは、三月
十五日までに教会事務所
へなさってください。

ことです。

これこそが、正に布教への足がかりとなり、神威高揚、教勢拡充、そして各家の自家成立、又それぞれに更なる大きなお徳を授けて下さる訳であります。

私共の寶生教は、自然の摂理にしたがうという、極めて当然の考え方です。今日の冬至祭も同様です。日の光が長くなっていく始めの日に、その日に相応しい神事を執り行い、ご奉仕する。これは日本人にとって至極当たり前の事なのです。

先程も申しました様に、我々は文明生活を送っておりますが、神様に命をいただいた、神様の分御霊です。そして自然の中に生かされている、一つの生き物に過ぎません。ということは、太陽の巡り、自然の巡りに大変影響を受ける存在なのです。

その様な中で生きていく訳ですから、より良い影響を受けて、自分達が幸せになる様に、又隣で共々に参拝する教えの友垣が幸せになる様に、延いては日本という国の発展に寄与できる様にと神様をお願いし、努力することが大切です。

御本宮 春之大祭は大阪当番

大勢で参拝いたしましょう

今年の春の御本宮大祭は大阪当番です。

祭典時刻は例年通りの午前十一時半です。祭員奉仕後片づけ等のご奉仕がございます。

参拝用のバスを用意してあります。是非ご利用いただき、大勢で参拝いたしましょう。

参拝用貸切バス

四月七日(日)午前0時出発
(六日夜十二時出発)

そういった時に、それぞれの心にゆとりができ、その心のゆとりにより身太氣神風が吹くものと確信しております。

どうぞ、年末年始お身体ご自愛いただき、輝かしい新年を迎えられます様、心より祈念致しております。

・大阪本部教会発着で
帰阪は七日の夜八時頃

・費用
一人 〇二、〇〇〇円
※大人、小人同額です。

※新幹線、自家用車等で参拝予定の方も、人数、名前を教会へお知らせください。

※いずれも、教会事務所前
に、申込み表があります。
できるだけ三月二十日迄
にご記入願います。

「お正月飾りを作る会」 年末好例で開催される

愛教
婦人会

十二月二十七日(木)今年もお正月飾りを作る会が開催されました。

定員二十五名でしたが、お申し込み、早々に達し、にぎにぎしく行われました。

水引きが目を引く
今年の作品です。



※繩に、今年は立派な水引飾りがつき、大変豪華なお飾りが出来ました。
デパートで購入すれば、一万円はするでしょうと、おっしゃる方がいるぐらいステキに仕上がりました。
きっとこのお正月飾りで玄関先で、お人の目をひきますが、嬉しい新年をお迎えになられたことでしょう。
次の機会にも、是非、多くのご参加お待ちいたしております。

教会行事

二月 一日(金)	月並祭	午後七時
二月 三日(日)	節分厄除祈願祭	午後七時
二月 八日(金)	修行日	午前十一時、午後七時
二月 九日(土)	教祖祭	午後七時
二月 十一日(祝)	建国記念祭	午前十時半
二月 十五日(金)	月並祭	午後七時
二月 十七日(日)	米子地区敬和会	
二月 二三日(土)	西播教会修行日	
二月 二四日(日)	養老教会修行日	
二月 二五日(月)	修行日	午前十一時、午後七時
三月 一日(金)	月並祭	午後七時
三月 二日(土)	愛教婦人会総会	午前十一時半
三月 三日(日)	御本宮月並祭	午前十一時半
三月 八日(金)	御本宮遙拜式	午前九時
三月 九日(土)	修行日	午前十一時、午後七時
三月 九日(土)	教祖祭	午後七時

祝祭日には必ず国旗を掲揚しましょう

寶生教 国旗掲揚運動